献　血



70名様以上のご協力が必要です！

日程　11月20日（金）

時間　10:00～11:45
13:00～16:00



場所　習志野市役所
市庁舎1階展示スペース

主催　習志野中央ライオンズクラブ

ラブラッド事前予約はこちらから⇒
【お問い合わせ先：フリーダイヤル　0120-892-760】

献血記念品

・めぐりズム2個セット



・手のりたま



・歯磨き粉



どちらか選択プレゼント♪

☆お菓子・ジュースのご用意もございます

初回献血者キャンペーン

はじめて献血ご協力頂いた方へ

「特別記念品」追加プレゼント！



★各課より、おひとりでも多くの方のご参加をお願いいたします★
★市民の皆様の献血ご協力もお待ち申し上げます★

採血基準について

項目＼献血の種類	２００ml全血献血	４００ml全血献血
年齢	１６～６９歳	男性：１７～６９歳 女性：１８～６９歳
	※65歳以上の方の献血については、献血いただく方の健康を考慮し60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。	
体重	男性：４５kg以上 女性：４０kg以上	男女とも５０kg以上
	※基準を満たしている方には４００mℓ献血をお願いしております	

服薬・予防接種・その他

事前にチャットボットにお問合せできます！

服薬について（代表的なもの）

区分	薬の種類（一例）
当日服用で採血可能◎	尿酸値を下げる薬
	高脂血症の薬（コレステロールを抑える薬）
	降圧薬（血圧を下げる薬）
	ビタミン剤
	漢方薬
	花粉症の薬　など
当日服用で採血不可×	解熱鎮痛剤（痛み止めを含む）
	風邪薬
	睡眠薬　など
3日間以内の服用で採血可能△※最後に服薬した日を一日目とカウントし、４日目から献血可能	抗生剤・抗真菌薬・抗ウイルス薬
	抗うつ薬・抗精神病薬
	喘息治療薬　など
服用中は採血不可×	糖尿病治療薬
	心臓病治療薬（狭心症・抗不整脈薬など）
	抗血栓症薬・抗凝固薬　など

献血がお願いできない場合



・３日以内に出血を伴う歯科治療を受けた方

・外傷のある方（止血できていれば可能な場合もあり）



・口内炎のある方

・直近の食事を２食以上抜いている方



その他、健診医の判断によりお願いできない場合がございます。

予防接種について（代表的なもの）

種類	経過期間
インフルエンザ	２４時間
B型肝炎ウイルス	２週間
ムンプス（おたふくかぜ） 水痘・帯状疱疹 麻疹・風疹	４週間

海外滞在について

★帰国日から4週間以内は、献血をご遠慮いただいております。

・マラリア流行地域への渡航

・英国および欧州滞在期間有

→滞在国や滞在期間によっては延期する期間が決まっております。

※最終的な採血可否は当日健診医の判断となります。
（お薬手帳等あるとスムーズです）

患者さんから

お手紙をいただきましたので

ご紹介させていただきます

「大きな病院で血液検査を受けて下さい」
その翌日から息子の輸血の日々が始まりました。
18才大学1年秋　再生不良性貧血、ステージ5と診断。
「10年前の輸血の技術では助らなかったよ」
…との医師の言葉　不安な日々でした。
貧血のため思うように身体が動かせなくても、
輸血を受けると元気になることができました。
治療を受けるまでの2カ月。その後治療の成果が
出るまでの4カ月。55回の輸血で命を繋ぐことができました。
1年遅れて復学。就職。今年結婚と
幸せな日々を送っています。
皆様のあたたかい善意で多くの方の命が繋がれています。これからも献血にご協力お願いします。
そして、献血して下さった55名の方々には本当に感謝しています。本当にありがとうございました。



■輸血用血液の多くは病気の患者さんに

献血いただいた血液の**約8割は**
病気の患者さんに輸血されています。

→ 献血への継続的なご協力を
必要としています。

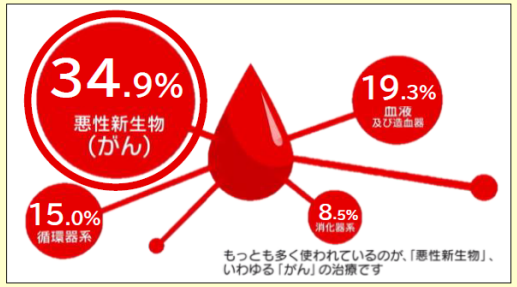
献血の輪が広がりますように

輸血用血液の多くは「がん」や「白血病」等の病気の患者さんの治療に使用しております。患者さんが安心して輸血医療を受けられるよう、より多くの皆さまのご協力をお願いいたします。

Q. いつも献血のお願いをしているのは、なぜ？

A. 病気の治療では、１度で数人分の血液を使用したり、定期的な輸血が行われることから、**１人の患者さんを何人もの献血者で支えています。**
一方、安全面を考慮し１人の方から短期間に何度も献血にご協力いただくことはできません。また、輸血用血液には有効期間（※）があり、長期保存が出来ないことから、継続的なご協力をお願いしています。

※　輸血用血液製剤有効期間
【赤血球製剤】採血後２８日間　【血小板製剤】採血後6日間



出典：東京都保健医療局(2024年)調べ

「**献血の流れ**」や「**事前の確認事項**」
などの**献血**についての詳細は
こちらのQRコードから
ご確認いただけますと幸いです。



服薬や既往歴など
事前にチャットボットに
お問合せできます！



献血について知ろう！

2ページ

なぜ献血は必要？

血液は人工的に造ることができない

人工血液の研究は進んでいますが、生産量や費用面などの課題も多く、献血由来の血液製剤に全面的に置き換わることは難しいと考えられます。

長期保存ができない

輸血用血液製剤には有効期間があります。
例えば、赤血球製剤の有効期間は･･･



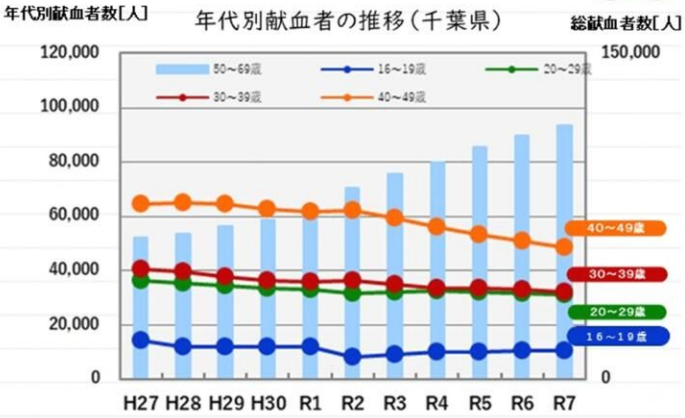
採血後28日間です。

日々のご協力を
お願いしているっち!



実は献血の課題・・





今後の輸血治療を支えるためには、若い世代の皆さまをはじめ、多くの方の継続的なご協力が欠かせません。
皆さまのご協力をお待ちしております！

≪血液の使用状況≫



輸血用の血液は、
すべて献血で支えられています。

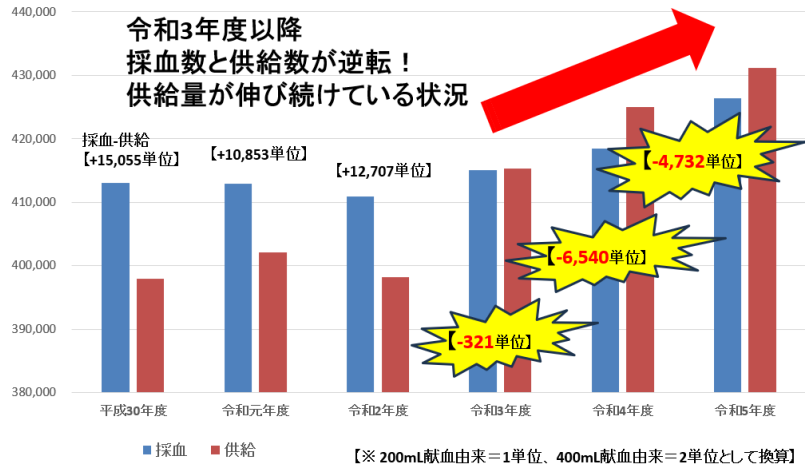


千葉県では、**毎日800人以上**の方の献血を
必要としています。



バス1台あたり**50人前後**のご協力が必要です。

■県内の輸血使用（供給量）は**増加**。今後も増える見込み…



【※ 200mL献血由来＝1単位、400mL献血由来＝2単位として換算】



献血は誰でも取り組める身近なボランティア

わずか40分で助かる命があります。

献血から生まれる“愛の贈りもの”が尊い命を救います。

皆様からの善意によりいただいた血液が、輸血を中心とした医療を支えています。
現在、千葉県内では、一日に約800人分の血液が必要です。

血液は人工的に造ることができず、長い期間保存することもできません。輸血用の血液を、いつまでも十分に確保しておくためには、絶えず誰かの血液提供が必要になります。

400mL献血にかかる時間は、受付から採血後の休憩まで約40分です。そのわずかな時間で、今も病気やケガと戦っている患者さんの大切な命を救うことができます。

日本赤十字社は、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」に基づき、国や県と連携して献血者の受け入れに努めています。

日々の業務がある中、皆様にはご負担をお願いする形になってはしまいますが、
社会貢献活動の一環として、「命を守る」献血にぜひご協力いただけますと幸いです。